

Adobe Systems Incorporated

(アドビ システムズ社)

ADOBE SYSTEMS INCORPORATED

(アドビ システムズ社)

本社所在地

米国カリフォルニア州サンノゼ

www.adobe.com

設立

1982年

株式銘柄記号

ADBE (Nasdaq)

アドビシステムズ社 2008年度の売上

35億8,000万米ドル(2008年11月28日終了)

クリエイティブ プロフェッショナルの90%以上がデスクトップに Adobe Photoshopを所有

世界のコンピュータメーカー 上位10社がPDFテクノロジーを製品に同梱

インターネットに接続されたPC の約98%に Adobe Flash Player がインストール

クリエイティブの未来を拓き、人と情報の関係を革新するというビジョンのもと、アドビは過去 20年以上にわたる技術革新の中で、数々の業界標準を生み出してきました。多くの受賞歴に輝くソフトウェアやテクノロジーは、場所や時間にとらわれることなく優れたコンテンツの制作、配信を可能にし、ビジネス、エンターテインメント、そしてパーソナルな分野においても、新たな次元のコミュニケーションを実現しています。高品質なデジタルイメージングはもとより、ビデオや映画、さらには様々なメディアに向けたダイナミックなデジタルコンテンツの制作にいたるまで、アドビのソリューションは幅広い業界で標準として活用されています。また、制作現場のみならず、こうしたメディアや情報を利用するユーザーの間でも、アドビのソフトウェアは広く愛用されています。ソフトウェア企業の中で、今や世界最大のリーディングカンパニーの1つに成長したアドビは、世界中のユーザーから支持される卓越したソフトウェア製品を数多く提供し続けています。

革新の軌跡

アドビの設立者であるチャールズ ゲシキとジョン ワーノックは、全く新しいパブリッシングとグラフィック制作の方法を実現することにより、人と情報との関係を革新したいというビジョンを抱いていました。2人が出会ったのは1970年代後半、米国ゼロックスパラルト研究所 (PARC) でのことでした。そこで2人は、デバイス非依存のグラフィック制作システムと印刷について研究していました。コンピュータのあり方を変える可能性を秘めた研究に没頭していた2人はやがて、急成長を遂げつつあるテクノロジー市場で自分たちのアイデアを活かすには、研究所を出て自分たちの会社を設立するしかないと決心します。1982年、チャールズ ゲシキとジョン ワーノックは、コンピュータのスクリーンに映し出されたテキストと画像をその通りに印刷で再現することだけを目標に、アドビ システムズ社を設立しました。その1年後、それまでの常識を覆す革新的な印刷技術である Adobe® PostScript® を発表し、新しいDTP時代の幕開けに貢献することとなりました。Adobe PostScript によって、ファイルの体裁とグラフィック、そしてフォントをコンピュータのスクリーンに見た通りの状態で印刷することが初めて可能になったのです。その直後から世界中の印刷会社が Adobe PostScript を導入し、それまでは考えられなかったようなコスト削減と生産性向上が実現しました。Adobe PostScript技術は、いま現在でも印刷業界において中心的な役割を果たしています。

業界標準の構築

PostScript の成功によって確固たる基礎を築いたアドビは、次にデスクトップソフトウェアの分野に進出すべく、Adobe® Illustrator® と Adobe Photoshop® を発表しました。そしてこれらの革新的なアプリケーションは、デザイン業界のあり方を完全に変わることになります。画像制作と印刷の分野において、これまでにない高い品質を提供し、複雑な表現をクオリティと複雑さが実現できるようになったのです。Illustrator と Photoshop がもたらしたこのメリットは、後にビデオや映画、Web、他のメディアでも活かされることとなります。また、続いて発表された Adobe InDesign® は、ページレイアウトの概念を一新し、雑誌社や新聞社、企業において、洗練された統合パブリッシングワークフローを実現しました。コンピュータの新たな可能性を見出し、革新し続けるというビジョンのもと、デスクトップソフトウェアにおける経験と、アドビのルーツとも言える PostScript 印刷技術とを結集して生み出されたのが、Adobe Acrobat® と Adobe® PDF (Portable Document Format) です。Acrobat と PDF は、電子ドキュメントを世界中に向けてクロスプラットフォームで配信する方法を提供することにより、共同作業と情報共有のあり方を変革しました。Acrobat と PDF では、PostScript が紙ベースで実現した、意図した通りの体裁を保つという技術が、電子ドキュメントに活かされています。Acrobat は急速に普及し、現在では Web やイントラネット、電子メールなどを介してドキュメントを共有する行政機関や企業など、あらゆる場所で PDF が事実上の標準フォーマットとして活用されています。

デスクトップソフトウェアから企業向けソリューションへ

デジタルコンテンツに対するニーズが急速に高まる中、アドビのソリューションは、アイデアをビジュアル化し、それを様々なデジタルメディアに向けて配信する方法を提供してきました。2000年、ブルース チゼンの CEO 就任を契機に、アドビはデスクトップソフトウェア企業から法人向けプラットフォームプロバイダへの飛躍をビジョンに掲げ、業界リーダーとしてさらなるビジネスの強化に乗り出しました。2005年には、圧倒的な普及率を誇る Flash® の開発元であり、マルチメディアと Web 開発のパイオニアとしても知られるマクロメディア社を傘下に収め、強力な技術基盤とカスタムソリューションのラインナップをさらに充実させることに成功しました。

全世界の7億台を超えるパソコン
およびデバイスが、Adobe Reader
とFlash Player をどちらも搭載

2009年米国Fortune誌調査の
「米国の働きたい会社ベスト100」
において10年目のランキング¹

アドビの売上のうち、米国外で
の収入が占める割合は半分以上

アドビのビジネスプラットフォーム

現在、Adobe PDF と Flash のテクノロジーをベースに構築されたAdobe Engagement Platformは、効率的かつスムーズな情報の作成、管理、配布、処理に大きく貢献しています。無償配布されているAdobe® Reader®とFlash Playerは、すでに世界中の何億台というコンピュータや携帯電話、その他様々な機器にインストールされています。 Adobe Engagement Platformでは、これらのソフトウェアを利用して、Web サイト、企業アプリケーション、オンラインミーティング、および電子ドキュメントを介し、どこからでも必要な情報やコンテンツにアクセスでき、業務やコラボレーションに活用が可能です。またアドビは、幅広い業界でビジネスに貢献しているアプリケーションの開発元各社とパートナー提携を結んでおり、こうしたソリューションプロバイダ各社のサポートによって、Adobe Engagement Platform はさらに強化されています。

世界中の顧客にサービスを提供

アドビのソリューションは、世界有数の企業、組織の多くによって日常業務に利用されており、その業種は出版、行政、金融、通信、教育など多岐にわたります。具体的には、米国歳入局 (IRS)、ドイツ銀行、Nokia、Yahoo、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)、SAP、ウォールマートなどが含まれます。これらの企業以外にも世界中の何千という法人顧客の方々にアドビのソリューションをご活用いただいています。その主な顧客層を以下にご紹介します。

• **知的労働に携わる法人、個人**：企業や行政機関では、デスクトップベースあるいはサーバベースのアドビのソリューションを使用して、組織内外における生産性、共同作業、業務プロセスの改善を図っています。

• **クリエイター、デザイナー**：デザイナー、パブリッシャー、フォトグラファー、ビデオグラファーは、アドビのソリューションを使用して、競合ブランドや製品と差別化できる魅力的なコンテンツを、プリントやWeb、ビデオ、モバイルといったメディアに向けてデザイン制作しています。

• **ハイエンドなホームユーザー**：ホームユーザーにも人気の高いアドビのソリューションは、画像やコンテンツの制作、編集、プリント出力、様々なデジタルメディアに向けた配信に、多くの方々に愛用されています。

• **デベロッパーなどのパートナー企業**：デベロッパー、システムインテグレータ、ソフトウェアメーカーといったパートナー企業各社は、Adobe Engagement Platformを活かしてダイナミックなアプリケーションを構築し、よりインタラクティブな情報の活用方法を求めるビジネスニーズに対応しています。

アドビの確固たる企業文化と地域社会への取組み

アドビの長年にわたる成功は、常に革新を求める企業文化と、世界各国で仕事に取り組む有能な社員によって支えられています。アメリカFORTUNE誌の2009年度「働きたい会社」ランキングで11位、ドイツの「働きたい会社」ランキングでは24位、インドの「働きたい会社」ランキングで19位にランクされ、カナダの「トップ100の企業」にも選出されています。米国で社会的影響力のある企業のトップ50に数えられるアドビは²、さらに事業所のある地域や社員が暮らすコミュニティで、寄付金の提供やソフトウェアの寄贈、ボランティア活動、NPOでのソフトウェア研修を行うなど、地域社会にも貢献しています。2006年にはアドビはAdobe Youth Voiceという慈善プログラムをスタートさせました。これは青少年や地域にマルチメディアツールへのアクセスやトレーニング、そして世界規模の青少年、教師、プログラムリーダーへのネットワークを提供するプログラムです。このプログラムは世界31カ国で展開され、160か所以上の拠点や団体で、青少年や教育者が学校内外でのプログラムに参加しています。クリエイティブの未来を拓き、人と情報の関係を革新するという信念は、今もなおアドビの中で1982年の設立当初と変わらず強く息づいています。現在、雑誌や広告、映画、テレビ、デジタルメディアなどで目にする画像のほとんどに、アドビソフトウェアが何らかのかたちで使われています。アドビはこれからも常に革新を続け、人が情報を生み出し、利用し、役立てていくための、新たな可能性を追求していきます。

Better by Adobe.™

アドビシステムズ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎
イーストタワー
www.adobe.com/jp

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Illustrator、Adobe PDF、Adobe Reader、Acrobat、Flash、InDesign、Photoshop、PostScript、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
© 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
03/09

¹ 1998年、2000年から2005年、2007年から2009年までの計10年間。2006年はマクロメディア社の買収によりランクインはされませんでした。

² Boston College Center for Corporate Citizenship and Reputation Institute, 2008 Corporate Social Responsibility Index より出典

